

◆◆◆ 平成20年花粉飛散予測と新しい花粉飛散量の予測方法について

平成20年春のスギおよびヒノキ花粉総飛散量予測が1月24日(木)に環境省から発表されました。当センターでは、花粉飛散に関する環境省や農林水産省、東京都の調査研究に携わっているとともに、情報提供に対する技術的な協力を実行しているところから、間もなく花粉が飛散する時期を迎えて、関連する情報として、以下に発表の概要を紹介します。

- ・昨年(平成19年)に比較すると花粉の飛散量は東日本で1.5倍から3倍と予測され、西日本はほぼ昨年並みと予測されています。特に埼玉県と山梨県で昨年の3倍を超える飛散量が見込まれています。
- ・過去10年間の平均との比較では東日本で例年並かやや多くなっており、西日本は例年並みかやや少なくなると予測されています。
- ・東日本では3000個/cm²を超える地域が多く、西日本でも中国地方を除けば2000個/cm²を越えています。大飛散となった平成17年を除くと、全国的に総飛散量の平均は1000~2000個/cm²程度であることから、例年並みであると見込まれていますが、ここ数年間では平成17年に次ぐ飛散量となっています。
- ・また、飛散開始日は例年に比較して5~10日ほど早くなるものと予測されました。その後2月の気温も高めに推移すると予想されることから、飛散開始後、すみやかにピークの時期をむかえると考えられます。また、昨年に比較して飛散量が多いことから飛散している期間も昨年より長くなると予想されます。
- ・飛散量、飛散期間ともに多く、長くなると考えられることから、外出にあたっては花粉情報に留意し、花粉症グッズを着用する等、できる限り花粉をあびないようにすることが必要です。

花粉飛散量は、前年の気象条件や林野庁およびNPO花粉情報協会によるスギの花芽量の調査結果と、過去10年程度の気象状況や飛散状況および地域による差異などを考慮し、予測が行われています。また、飛散開始日の予測は、スギの休眠(11月頃)と覚醒時期の気温推移などから導き出されます。

平成19年の花粉飛散について予測と実況を振り返ってみると、両者の間のばらつきが大きくなっていました。これは、記録的な暖冬傾向であるため、花粉飛散シーズン全体を通じて花粉の移流・拡散プロセスや降水現象の出現特性が例年とは大きく異なっていたことから、雄花の開花と花粉放出の特性に多大な変化をもたらしたと考えられます。

近年の、地球温暖化等の気候変動により、これまで出現しなかった気象状況下における飛散量予測は、原理的に困難な場合もみられます。しかし一方で、昨今の情報処理能力の進展などにより、より花粉飛散のメカニズムに基づいた花粉飛散量数値予報技術がほぼ実用域に達しつつある状況です。この数値予報技術は従前の統計的な予報と異なり、花粉飛散の現象を複数のプロセスに分解し、各プロセスの物理現象の実態をトレースする如く計算機を駆使して、解いて行く手法です。このため、過去の統計に基づく手法と比較して、これまでにあまり例のないような気象状況下においてもある程度の予測精度を確保することができると考えられています。

東京都では、平成20年春から、一日のうちでどの時間帯に飛散花粉数が多いかという時間単位の花粉予報の提供を始めます。予報内容は東京都のホームページに掲載されるほか、携帯電話へのメール配信提供も行われます。花粉症予防、対策についての各種情報等が分かりやすくまとめられた小冊子「平成20年版花粉症一口メモ」も、東京都ホームページからダウンロードすることができます。また、環境省のホームページ「花粉情報サイト」で各種情報が提供されているほか、環境省の花粉観測システム「はなこさん」から関東以西の各地域の花粉飛散状況が閲覧できます。

このような情報を有効に活用するなどして、花粉飛散シーズンを上手に乗り切りたいものです。

〈サイトのご案内〉

東京都福祉保健局の報道発表「20年春のスギ・ヒノキ科花粉の飛散予測」；

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2008/01/20i1h600.htm>

東京都の花粉情報のページ；<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kanho/kafun/>

東京都福祉保健局発行の花粉情報冊子「平成20年版花粉症一口メモ」；

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kanho/kafun/info/image/hitokuti_memo.pdf

環境省「花粉情報サイト」；<http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/index.html>

環境省花粉観測システム「はなこさん」；<http://kafun.taiki.go.jp/>

((財) 気象業務支援センター専任主任技師 鈴木基雄)

